

学 校 だ よ り 平成29年 1月 10日



1月号

NO. 334

横浜市立茅ヶ崎小学校  
校長 岩本悦子

## ついた餅より心持ち

副校長 山内容子

あけましておめでとうございます。

平成29年のお正月を迎え、新たな気持ちで一年間を過ごそうと思っている方も多いと思います。新年は、誰もが心新たにするときです。酉年のこの1年が、皆様にとって良い年になるようお祈り申し上げます。

お正月とつながりの深い食べ物のひとつの「餅」。今月、5年生は例年通り、餅つきを計画しています。昨年の春から心を込めて育ててきたお米での餅つきですから、ついた餅の味はひとしおのことと思います。

さて、「餅」にちなんだことわざで「ついた餅より心持ち」があります。意味は、物をもらうことより、その気持ちのほうありがたい。ご馳走してもらうことより、ご馳走してくれた気持ちの方がありがたい、ということだそうです。物やお金をもらうことも、もちろん嬉しいことですが、どんなに裕福になり、様々な物があふれても、すばらしい「心持ち」にふれることができたときの喜びほどうれしいことはありません。

日本は、おもてなしの国といわれていますが、最近では、物や情報は伝わりやすくて、も、「こころ」や「思いやり」といった無形の伝わりは難しくなってきたように思います。だからこそ、相手を思う気持ちや、周囲を大切にすることをもち、それをやわらかに表現しながら、日々過ごしていきたいものです。

これからも、子どもたちには「ついた餅」以上に「心持ち」を育み、そして教職員一同で、保護者・地域の皆様に「心持ち」をお届けすることができるような学校を目指していきます。

今年も、引き続き本校にお力添えいただきますようよろしくお願いいたします。